

4・5・6年

夏のおすすめ本

読書ポスター

本をよんで

こころわくわく

『のねずみポップはお天気はかせ』

に し な さ ち こ さ く え と く ま し ょ て ん
仁科 幸子／作・絵（徳間書店）

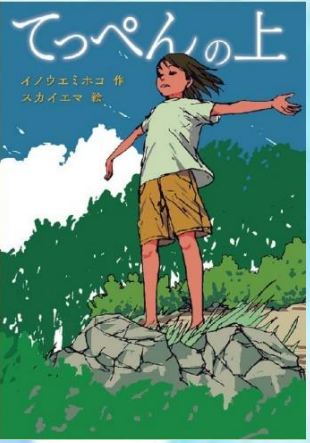
のねずみのポップのおかあさんは天気予報士でしたが、雨の日に川を調べに行ったまま、帰ってきませんでした。ポップはおかあさんをうばった天気予報がきらいでしたが、天気予報はたくさんの人を助けることができると知り、天気予報の勉強をはじめることになりました。



『てっぺんの上』

さ く ぶ ん け ん し ゅ っ ぱ ん
イノウエミホコ／作（文研出版）

小学5年のエナは、今、自分は最悪の状況にいます。なぜなら、お母さんが突然家出し、お父さんの工場もつぶれて、おばあちゃんと暮らすことになってしまったからです。そんなエナは、スーパーで夕食の材料を買っている少年レオと出会い、彼のお母さんもないと知ります。レオも自分と同じように「おれの人生どん底だ」と思っていることに気づいたエナは、彼のことが気になりはじめます。



『竜が呼んだ娘』

か し わ ば さ ち こ さ く こ う だ ん し ゃ
柏葉 幸子／作（講談社）

10歳のミアは、竜に連れられ辺境の村から魔法の住む王宮にやってきます。ミアはそこで幽霊屋敷の召使いとして働くことになり、主人の姿は見当たらず、無人の部屋には毎晩泣き声が響いていました。ところがある日、ミアは幽霊の正体が魔法に呪いをかけられた騎士だと知ります。魔法の呪いをとく方法を探すため、ミアは竜によって各地をめぐる旅にでることになります。



『さんすうの本』

は し づ め だ い さ ぶ ろ う ち ょ や ま け い こ く し ゃ
橋爪 大三郎／著（山と溪谷社）

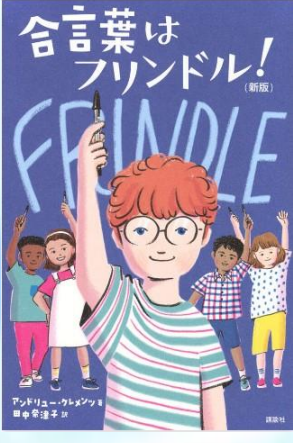
9歳の誕生日、すみれは数が主役の“ナンバーランド”という国にたどりつきました。そこには、「数の名前」や「たし算」、「図形」などの名前のついた建物が11あり、その中では建物の名前に関する数のひみつについて知ることができます。さんすうが苦手でも大丈夫。すみれと一緒に数のふしぎな世界を旅してみませんか。



『合言葉はフリンドル！』

あ い こ と ば
アンドリュー・クレメンツ／著（講談社）

ニックはリンカン小学校に通う5年生の男の子。いつも面白い事を考えついては、次々とやってのけてしまいます。そんなニックの得意技は先生を困らせて授業をストップさせること。ところが今回は強敵のグレンジャー先生が相手です。そこでニックはただのペンを“フリンドル”という全く別の言葉で呼ぶことにしました。辞書にも載っていない言葉を使い始めたニックたちに先生は怒ります。



『机の下のウサキチ』

お か だ じ ゅ ん さ く か い せ い し ゃ
岡田 淳／作（偕成社）

主人公の一平は、古い机の下からふしぎな野原にまよいこみ、ウサキチという名前の大きなウサギに出会います。ウサキチは一平のことを「キョチ」とよび、親しい友だちのように話し始めますが、この場所やウサキチのことを一平はなにも知りません。けれども、「ずっとまっていた」というウサキチを悲しませないため、一平はキョチとしてふるまうことにします。

